



身障秋田

発行人／社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長 細 矢 治 助

事務局／秋田市旭北栄町 1-5 TEL (018)864-2780 FAX (018)864-2781 平成 17 年 1 月 1 日発行



県下に滞在する、障害者及び関係者皆様
あけましておめでとございます。

年の初めにあたり、ご一同様のご多幸を
心からお祈り申し上げますと共に、日頃の
身障福祉向上に対するご理解とご協力を
心から感謝申し上げます。

さて、皆様、過ぎた一年間如何がお過ご
しにられましたか？。私は昨年、今頃年
頭の挨拶を書きながら、遅くとも来年の年
頭は、又、世の中全体が明るさを取り戻し、
活気に満ちた状態になるであろうと期待
を持っておりました。しかし現実には、その
期待とは裏腹に大変厳しく、中でも、平成
の市町村合併にもなう各身障協会の再
編等々、何時どの様な形の出口が見えて来
るか見通しも立たない状況の中で、新年を
迎えられたわけです。しかし、冷静に判断
しますと、現状は、極端であるにしても、
むしろ今の様な状態が普通であろうと考
え直し、こういう時であれば有る程、皆で
一致協力し、仲間から仲間へ、互いの持っ
ている能力と知恵を分け合い、この苦境を
乗り越え、一人一人の小さな社会を、健常・
障害者ともに、みんなが生き育つ大きな社
会に進展させ豊かな、活気に満ち溢れた世
の中を創って頂きたいと念じます。

「お互いに支え合おう」 社会参加と自立の為に！！

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会
会 長 細 矢 治 助

お陰様で、私どもの協会の業績も、県及
び市町村自治体、それに、関係諸団体のご
指導と、県下在住の皆様方の多大なご協力
により、順調な足取りで来てます事につ
きましては、ここに改めて心から敬意と感謝
申し上げますと共に、今後、県及び各市町
村行政及び単協組織体や県福祉協会、
共々に飛躍されることを、強く希望致しま
す。

私は思うに、今時の世の中はどんな些細
な出来事でも、私共の眼や耳にいつ早く届
く情報の時代です。
どれが本物が選択に困る時さえ有るも
の、やはり、本物の思考を求め、それを
大事にしなければ成らないだろうと思わ
れてなりません。

従って、迎える十七年度は、直面する主
なる課題や会員要望に答える為積極的
に動き、その解決策を念頭に努め、厳しい社
会構造下において、今こそ役員一同肝に
命じ、先輩諸氏の足跡を尊重し、且つ、認
識や視点の改めるべき事は改め、障害者と
言えども障害を生かした協会運営と、お互
いの幸を求めてがんばる所存です。

終りに、皆様には、地域社会の人々と関
わる中、その善意と、家族の温かさに感謝
し、自立と社会参加の為に互いに支え合い、

生活姿勢や福祉の原点を探り、地域や仲間
意識を大切にし、自らの健康管理を保たれ、
地域の発展とご一同様の幸をご祈念申し
上げ、年頭の挨拶と致します。
平成十七年一月一日

新年明けましておめでとございます
本年もよろしくお願い致します

- 顧問 佐藤 貢 [秋田県健康福祉部 障害福祉課長]
- 顧問 吉田慶嗣 [秋田県社会福祉協議会常務理事]
- 副会長 渡部昭一 (河辺町)
- 副会長 菅原龍典 (比内町)
- 副会長 丹 勇之助 (雄物川町)
- 理事 小森正直 (藤里町)
- 理事 小野晋作 (秋田市)
- 理事 小野昌一郎 (秋田市)
- 理事 宮崎恒雄 (湯沢市)
- 理事 藤井宏一 (田沢湖町)
- 理事 嶋田敏夫 (十文字町)
- 理事 藤原良治 (秋田市)
- 理事 高橋 豊 (秋田市)
- 常務理事 川井吉隆 (秋田市)
- 監事 伊藤二雄 (秋田市)
- 監事 白井忠治 (秋田市)
- 監事 三沢栄治 (合川町)

理事・評議員合同研修会 男鹿市で開催

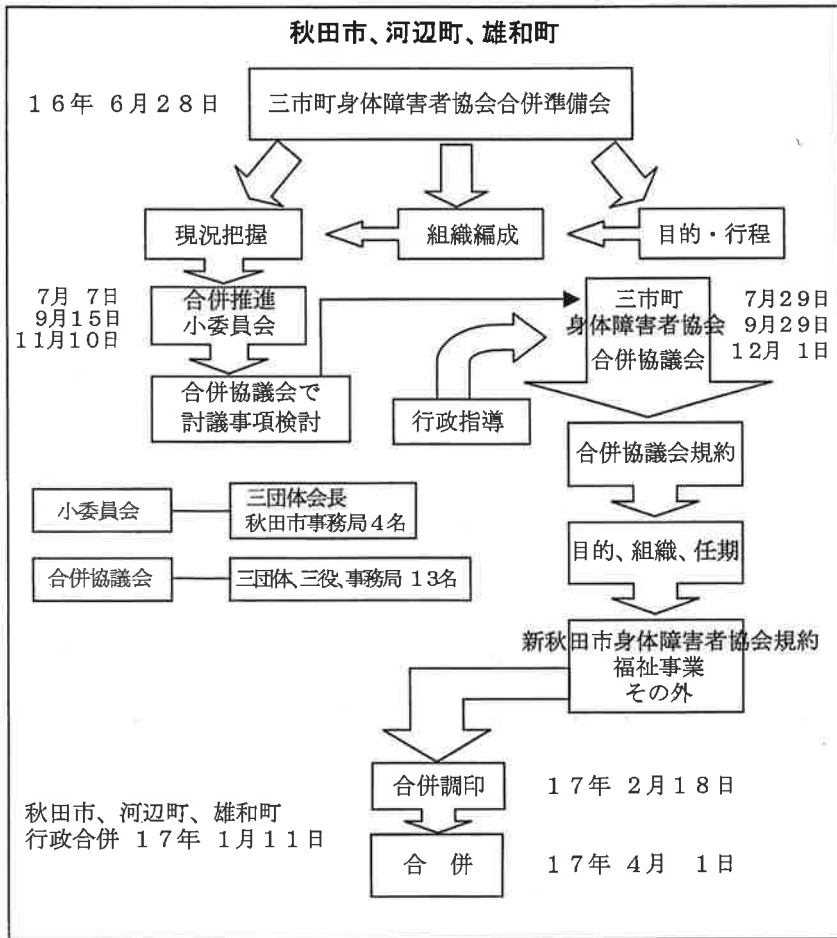
平成16年度の理事・評議員の合同研修会を11月16日(火)・17日(水)の2日間、男鹿市北浦のセイコグランドホテルで27名が参加し開催しました。その際、3名の方に「合併について県社会福祉協議会の取組みと秋田県身体障害者福祉協会の状況」を発表してもらいました。そのうち、身障者協会の概要を次に記載しますので、今後の参考にさせていただければ幸いです。

秋田市・河辺町・雄和町、三身体障害者協会合併協議の経緯について

秋田市身体障害者協会会長 小野晋作

秋田市は、河辺・雄和町を編入合併することで基本合意し行政、社会福祉協議会共呼応してその経緯を辿ってきた。任意団体である身体障害者協会も、基本的には行政合併手順と整合しながらも従来培ってきた両町の地域性、生活文化を尊重し合うことで、合併協議の進行を図り別図討議手順に基づき調印できる日程調整へとこぎつけられた。

即ち三団体の現況を粗上へのせ、秋田市福祉行政と整合可能な協会の基本路線を探る準備会で検討しあい、その内容を小委員会でも集約検討し、合併協議会で審議する事三回、その間行政の指針を得ながら新秋田市身体障害者協会発足の道筋を見るに至った。他自治体協会合併手順に少しでも参考になれば幸いに存じます



統合に向けての取組み状況
美郷町身体障害者協会会長 斎藤章次郎

千畑町・六郷町・仙南村、三町村が合併で十一月一日より、新しい町「美郷町」が県内第一号としてスタート致しました。

美郷町は、奥羽山脈の懐に抱かれ、肥沃な仙北平野から大地の恵みを受けている穀倉地帯で、人口は二万四千人余、面積百六十七平方キロメートル、規模は決して大きくはないが新しい町として誕生しました。

町村合併に伴い身体障害者協会の統合について行政からの説明が行なわれました。それを受けて三町村の会長、副会長のもとで話し合いを致しましたが、結論も出ず、次回は各協会から四名の役員を選出し、三町村で統合協議会を設立、具体的な検討を始め規約についての検討を行い、協議の結果名称を美郷町身体障害者協会に決定、更に「千畑支部・六郷支部・仙南支部」を置くこととす。役員構成は各支部から「理事四名、評議員三名、監事一名」合計二十四名を役員として選出した。美郷町身障協会の事業に付いては、支部との連絡調整、協会独自の事業は今後の課題とする。各支部の事業は支部独自で事業を計画して支部に任せる事とする。統合協議会は六回開催され、平成十六年十月十八日合同役員会において満場一致で承認を得ました。合併に伴いさまざまな問題が予測されますが、随時役員会を開催して協議を進める。今後の課題は、予算の関係をどう取扱うかが早急に対応する問題でもあります。

第四回 心いきいき芸術・文化祭

第四回心いきいき芸術・文化祭を十二月九日(木)から三日間、秋田市文化会館において開催しました。

オープニングセレモニーでは、主催者挨拶に続いてテーマの紹介があり、「創るよろこび! さら星のように、心ゆさぶる君のまなざし」というテーマを応募された加藤淑子さんのこのテーマを制作した経緯紹介のあと、主催者と障害者福祉展出品代表者によるテーマカットを行いました。

引き続き俳優の竹脇無我さんによる「うつ病の闘病生活乗り越えて」と題した講演とわらび座夢わくによるコンサートを行ない、大ホールには約九百名の入場者がありました。

二日目には、障害をお持ちの方々が出演するミニコンサートを行ない十二団体、総勢百名の参加を得て、日頃の活動で行なっている合唱や踊りが約三百名の観衆に披露されました。

地下の展示ホールでは、三日間にわたって障害者福祉展を開催しました。県内各地から申し込みのあった五百作品が会場に展示され、期間中を通しておよそ二千名の方々が観覧されました。

また、手工芸品などを販売する即売コーナーも設置され、県内十五の団体や施設が参加しました。

最終日のエンディングセレモニーでは、障害者福祉展の入賞作品の表彰に続いて、秋田マンドリン倶楽部によるコンサートが行なわれ、全ての日程を終了しました。

開催にあたっては、県当局をはじめ関係する団体の皆様からのご協力によって、予定された全てのイベントを無事終了することが出来ました。ご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。

※ 欠員となっておりました秋田ワークセンター所長に、高橋清氏が十二月六日に任命されました。

美郷町身体障害者協会状況一覧

項目	千畑	六郷	仙南	合計	備考
手帳所持者数	467	382	439	1,288	平成15年3月31日現在
会員数(人)	420	180	240	840	平成16年度会員予定数
加入率	90%	47%	55%	平均65%	平成16年度未加入予定率
会員会費(円)	1,000	1,000	1,000	3,000	平成16年度会費
総予算額(円)	816,900	650,000	564,460	2,031,360	平成16年度予算額
助成金(円)	330,000	128,000	182,000	640,000	平成16年度助成金